

令和5年度 学校評価 自己評価書(3学期)

1 学校の重点目標

- 学校経営, 学年・学級経営の充実〈生きる力を育てる教育課程の工夫・改善〉
- 豊かな学力の育成〈思考力, 判断力, 表現力等の向上を図る授業の創造〉
- 豊かな心の育成〈児童の深い理解と情報の共有化, 道徳教育の充実, 人権教育, 特別支援教育の推進〉
- 健やかな体の育成〈計画的体力づくりの推進, 学校事故・交通事故・不審者事故防止の指導徹底〉
- 教職員の資質向上〈指導力の向上, 業務改善, 職員研修の充実, 服務規律の厳正確保〉
- 環境の整備・充実〈花いっぱい, 清潔, 整理整頓〉
- 三者連携の推進〈地域に根ざした信頼ある学校〉

2 課題と改善策

評価項目	4段階評価		評価結果と改善方策
	職員	前学期比	
I 学校経営, 学年・学級経営の充実			
1 「楽しくてやりがいのある職場」	2.9	↓ -0.1	・新日課表の試行を学年部でアイデアを出し合い, 協力しながら進めることができた。 ・人権尊重の視点を重視しながら学年・学級経営ができています。
2 人事評価記録書を意識しての実践	3.1	↑ 0.1	
3 人権尊重の視点に立った学年・学級経営	3.2	↑ 0.1	
II 確かな学力の育成			
1 学習のしつけの定着	2.8	↓ -0.1	・グループ学習や話し合いができるようになったり(低学年)グループ学習で考えを広げたり深めたりすることができるようになってきた。(中高学年) ・シン広木タイムを活用して個別指導をしたり基本的な学習内容の定着を図ったりすることができた。 ・朝読書の時間がなくなったので, 時間や取り組み方の工夫で読書の量と質を維持・向上させていく必要がある。
2 単元・まとめテストで80%以上の達成	3.0	↑ 0.3	
3 思考力・判断力・表現力の向上を図る授業の実践(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善)	2.8	↑ 0.1	
4 朝読書の充実と学年別読書冊数を設定した取組	2.7	↑ 0.1	
III 豊かな心の育成			
1 揃えることの大切さ(挨拶先手, 言葉遣い, 靴箱の靴)の指導の徹底	2.9	↑ 0.1	・まだ個人差はあるが, 全校でのあいさつ指導の取組により少しずつあいさつがよくなってきつつある。今後も全校体制で声かけ・指導を継続していきたい。 ・新日課表で掃除の回数が増えたり縦割りになったりして責任をもって熱心に掃除に取り組む子供たちが少しずつ増えてきた。 ・今後も言葉遣いやネーム, 服装, その他生活面での指導などを学年や全校で統一した指導を継続して行っていく必要がある。
2 深い児童理解, 納得させる指導と見届け, 毅然とした指導	3.3	↑ 0.3	
3 各教科等における道徳教育, 考え議論する道徳	3.0	↑ 0.1	
4 困り感のある児童に対する共通理解, 共通実践	3.2	↑ 0.2	
5 特別支援教育の推進(合理的配慮, 支援体制の充)	3.2	↑ 0.1	
IV 健やかな体の育成			
1 教科体育の充実, 一校一運動の推進	3.3	↑ 0.3	・今年度から始まった学年ごとの縄跳び大会に向けて縄跳び・長縄の練習を継続して行うことができた。子供たちも自主的・意欲的に取り組むことができていた。
2 感染症対策の徹底, けがや病気の予防に努める指導	3.2	→ 0.0	
3 危機意識の高揚と自己ゼロの達成	3.3	↑ 0.3	
4 食育の推進と給食指導	3.1	↑ 0.2	
V 教職員の資質向上			
1 教育の質の維持・向上を目的とした業務改善	3.3	↑ 0.1	・新日課表試行により放課後の時間が増え, 教材研究・授業の準備等がしかりとできるようになった。あおぞらタイムで子供たちと触れ合う時間が増えた。宿題・連絡帳等を見る時間の確保やその工夫が課題。
2 職員研修への意欲的取組	3.0	↓ -0.1	
3 服務規律の厳正確保	3.7	→ 0.0	
4 健康管理	3.2	↑ 0.1	
VI 環境の整備・充実			
1 自然愛護, 生命尊重の意識高揚を図る指導	2.7	↓ -0.1	・自然愛護の意識高揚を図るために, 今後も一人一鉢などへの声かけや指導を継続していきたい。
2 整然とした学習環境	3.1	↑ 0.1	
VII 三者連携の充実			
1 PTAと連携した基本的な生活習慣や学習習慣の確立家読の推進, 家庭での仕事の励行	2.9	↓ -0.1	・高学年では, LINEトラブルが頻発している。家庭・地域と連携をさらに図って必要がある。

3 次学期(年度)に向けての取組

- 大きな変革である新日課表の試行を行った3学期だった。全職員で協力し合って前向きに取り組み, 4月からの完全実施に向けて課題やその解決策を探ることができた。新年度は, 修正を加えた新日課表で, 新しく本校に転入されてくる職員も一丸となりながらさらに多くの成果が見られるように取り組んでいきたい。